

(令和3年2月試験研究業務月報)

試験研究課題：二枚貝貝毒モニタリング事業

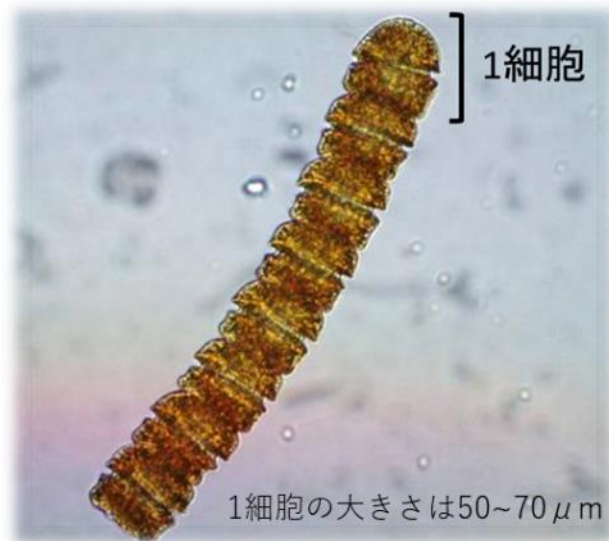
情報

## モニタリングにより、毒化貝の市場流通を未然に防ぎました

二枚貝は、海中をただよう植物プランクトンを餌にしています。プランクトンの中には人に毒となる成分を持つものがあり、それらを摂取した二枚貝は毒化します。毒化した二枚貝を人が食べると食中毒を引き起こすことがあり、主な中毒症状は手足のしびれや麻痺などで、最悪の場合死に至ります。

当センターでは、毎月毒化貝の発生状況をモニタリングしています。今年の1月上旬の検査では、舞鶴湾の養殖マガキから国の定めた規制値を超える毒が検出されたため、同湾の全ての二枚貝の出荷を自粛するよう指導しました。その後当センターのモニタリングを強化・継続するとともに漁協と協議を重ね、国の出荷再開基準を満たしたことが確認できた2月中旬から出荷を再開しています。

今後も漁協、生産者と連携し、安心・安全な二枚貝を消費者へ提供できるよう支援していきます。



舞鶴湾の二枚貝毒化の原因プランクトン：  
ギムノディニウム・カテナータム

海洋センター